

## 編集後記

●特集1では、何かと変化の多い年度替わりに、困っている同僚へできるサポートを紹介していただきました。その中に、「雑談を大切に」というものがありました。コロナ禍で小社は週の半分ほどテレワークを行っておりますが、家で一人仕事をしていると、雑談の果たしていた役割が身にしみてわかります。日常のふとした瞬間に交わされる、意味のないやりとりが、心に余裕を持たせてくれていたのだと思います。(た)

●この編集後記を書いている1月末の東京は、2度目の緊急事態宣言の最中で、新型コロナウイルスの新規陽性者数もちょっとずつ減ってきています。変異株が広がらず、ワクチン接種が順調に進み、収束していくことを願わずにはいられません。特集2では、オンラインで使えるアイスブレイクを12個紹介していただきました。授業や研修会などをオンラインで実施するとき、ぜひご活用いただければと思います。(こ)

## 次号のお知らせ

### 特集1 コロナ禍の中での「学級開き」の工夫

コロナ禍でも、「学級開き」で大切なことの本質は変わらないはず。それでも、子ども同士がかかわる活動が制限されたり、伝えなければならないルールが増えたりします。今できる工夫を紹介します。

### 特集2 不登校、年度はじめの登校を継続させるために

年度はじめは、不登校の子にとって再登校のチャンス。しかし、せっかく登校が始まっても、年度の途中で息切れしてしまうことも。登校を継続させるための年度はじめの工夫をご紹介します。



## ほんの森掲示板



# 月刊学校教育相談

2021年 令和3年 3月号

定価 820円 (本体 745円)

2021年3月1日発行

●発行所

## ほんの森出版株式会社

〒145-0062

東京都大田区北千束3-16-11

電話 03-5754-3346

FAX 03-5918-8146

URL <https://www.honnomori.co.jp>

●編集企画 学校教育相談研究所

●発行人 小林敏史

●印刷所 研友社印刷(株)

- ・学校暦と同じく『月刊学校教育相談』も次号の4月号が年度のスタートとなります。今月号まで連載してくださった先生方、これまで気がつかなかった視点や具体的ななかかわりを毎回ご紹介くださり、どうもありがとうございました。
- ・4月号からは、新たに6つの連載が始まります(巻頭の綴じ込みをご覧ください)。新年度も、読者のみなさんの日々のかかわりに役に立つ情報や、読んだら元気が出る情報をお届けできたらと考えています。4月号からもご期待ください!

●本誌の2021年4月号からの1年間の誌代は12,340円(税込 増刊号2冊を含みます)。振替口座 00140-4-768848 雑誌・書籍のご注文は、書店もしくは直接小社にどうぞ。本誌定期購読の場合は送料サービス。書籍・バックナンバーのご注文は1冊につき送料100円(3冊以上送料サービス)でお送りします。お支払いは送本時同封の郵便振替用紙で。

●  **文書ファイル配布** ページ下にこのマークが入っている ☆詳しくは奥付を! 資料のファイル(一太郎・ワード・パワポなど)を希望の方はホームページからご連絡ください。

ほんの森出版

検索